



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.4 寄附講座Ⅳ

今回は、阿波を愛し徳島の医療を担う! 「総合診療医学分野」をご紹介します。

■みんなで育てる徳島のための医者と医療

私たちが取り組む地域医療学分野の役割は次のとおりです。

- 1 徳島県で研修あるいは勤務する医師のサポート
- 2 総合診療医の育成
- 3 地域医療をテーマとした研究

簡潔に言うと、徳島県全体で連携協力して、徳島のために働いてくれる医者を育てようということです。そのために、最初の数年間は徳島県内の各地域を回って総合診療、地域医療、チーム医療をみっちり学びます。小さな町や病院ならではの包括的な医療を肌で体感するように地域、コミュニティにどっぷりと漬かって覚えるのです。さまざまな臨床能力を身につけておくことは若い頃にはできませんし、地域にとって何よりも必要とされる幅広い分野で初期治療が出来る医者になるには、総合診療能力を備え、幅広い人間理解、患者と家庭、職場そして地域とのつながりを重視した包括的医療が求められるからです。

そして、それらの教育によって身に付けた基本的総合診療技能は、将来臓器専門医を目指す医師にとっても大きな財産となります。現場で実践経験を積むという地域の病院の長所と、最新の医療情報を学べる大学の良いところをミックスして、徳島県のために働いてくれる徳島県に根ざした医者を育てようというわけです。

■阿波踊り、スダチ狩り、民宿体験

西部は三好市、南部は海部郡、そして中部是那賀町と、私たちのフィールドは徳島県全体です。ただ、それは過疎地医療に限定されたものではありません。地域医療に携わりながら、地域の行事や風物を楽しみ、短時間でも暮らしを共にする経験が貴重だと思うのです。

そうした中で、地域にはそこに根付いた地域ならではの医療があることを理解しつつ、自分自身の徳島への親しみや愛情を深め、また、若いエネルギーを備えた彼ら、彼女たちが地域に入っていくことで地域が変わることも期待しています。

若い時期にいろいろなことを経験し、何かのきっかけや縁で徳島に馴染みをもってもらい、それが未来の徳島の医療を支える人材を育てることにつながることを心から願って取り組んでいます。

「寄附講座」について

徳島県は、医師不足解消などを目的とした「地域医療再生計画」のひとつとして、2010～2013年度の4年間、運営費等を負担し「地域産婦人科診療部」「ER・災害医療診療部」「地域外科診療部」「総合診療医学分野」の4つの「寄附講座」を徳島大学に開設しました。「寄附講座」に所属する教員(医師)は、県立病院(中央病院、三好病院、海部病院)において診療活動を行いつつ、地域医療に関する研究を通じて同病院を支援するとともに、将来の地域医療を担う医師の養成に取り組んでいます。



説明は、
徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
総合診療医学分野
特任教授

谷 憲治 (たに けんじ) / 中央手前右

■問い合わせ
総合診療医学分野 Tel.088-633-9656
●「総合診療医学分野」ホームページ
<http://www.tiiki.umin.jp/>